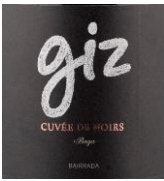




Luís Gomes
ルイシュ・ゴメシュ



「giz（ジース）」はポルトガル語で「チョーク」を意味し、バイラーダ南部に卓越する石灰質土壌を象徴する名である。ブサコ山と大西洋の間に広がるこの地で、ルイシュ・ゴメシュは2015年に自身のプロジェクトを立ち上げた。もともとバイオテクノロジーを専門とし、MBA取得後に栽培学と醸造学を修めた彼は、科学的な知見と現場の経験を併せ持ち、特に伐採の危機にあった古樹バガやマリア・ゴメシュ、ピカルの保存に力を注ぐ。畑は総計6ha、樹齢100年を超える在来品種が残され、収穫は熟度に応じて3段階に分けられる。初回はスパークリング、次にロゼ、最後に赤ワインと段階的に収穫し、それぞれの熟成を高める設計だ。醸造は借り受けたセラーで行い、低温下で野生酵母発酵を行うことでミネラルと繊細な香りを引き出す。熟成にはフレンチオークに加え、ガルベロット製の大樽も導入し、樽の個性を見極めながら最終的にブレンド。力強さと精緻さの両立を目指し、土着品種の古樹と石灰岩の豊富な土壌から色とりどりのタイプのワインを生み出す。

	◎Bairrada - Giz - Espmante Cuvée de Noirs Brut Nature バイラーダ ジース エスパマンテ・キュヴェ・ド・ノワール・ブリュット・ナチュール			備考	ブドウの樹は、畑が1930年にDOCバイラーダに登録されるより前から植えられていたもの。
	畑	品種：バガ 植樹：1930年以前 位置：海面近く（大西洋から約24km）、主に南西向き 土壌：チョーク質石灰岩	醸造		
	○Bairrada - Giz - Vinhas Velhas Branco バイラーダ ジース ヴィニャシュ・ヴェーリャシュ・ブランコ			備考	ブドウの樹は、畑が1930年にDOCバイラーダに登録されるより前から植えられていたもの。
	畑	品種：マリア・ゴメシュ、ピカル主体、土着品種のブレンド 植樹：1930年以前 位置：海面近く（大西洋から約24km）、主に南西向き 土壌：チョーク質石灰岩	醸造		
	●Bairrada - Giz - Vinhas Velhas Rosé バイラーダ ジース ヴィニャシュ・ヴェーリャシュ・ロゼ			備考	ブドウの樹は、畑が1930年にDOCバイラーダに登録されるより前から植えられていたもの。
	畑	品種：バガ 植樹：1930年以前 位置：海面近く（大西洋から約24km）、主に南西向き 土壌：砂質、粘土質、石灰岩	醸造		
	●Bairrada - Giz - Vinhas Velhas Tinto バイラーダ ジース ヴィニャシュ・ヴェーリャシュ・ティント			備考	ブドウの樹は、畑が1930年にDOCバイラーダに登録されるより前から植えられていたもの。
	畑	品種：バガ 植樹：1930年以前 位置：海面近く（大西洋から約24km）、主に南西向き 土壌：チョーク質石灰岩	醸造		
	●Bairrada - Giz - Vinha das Cavaleiras Tinto バイラーダ ジース ヴィニャ・ダシュ・カヴァレイラシュ・ティント			備考	ブドウの樹は、畑が1930年にDOCバイラーダに登録されるより前から植えられていたもの。 限定された区画のバガを使用。
	畑	品種：バガ 植樹：1930年以前 位置：海面近く（大西洋から約24km）、主に南西向き 土壌：チョーク質石灰岩	醸造		